

第5回 亀山市総合計画審議会 議事録

開催日時	令和7年11月17日(月) 9:15~11:30
開催場所	亀山市役所本庁舎 3階 委員会室
議事項目	1. 会長あいさつ 2. 第3次総合計画の審議 (1)書面提出意見の報告について (2)前期基本計画について 3. その他
議 事	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員15名中14名の出席(山川委員が欠席)により、会議が成立している旨を報告する。 配布した事項書に沿って進めていく。 <p>1. 会長あいさつ</p> <p>【会長よりあいさつ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第3次総合計画基本構想・前期基本計画の計画案について、前回は政策の大綱3までを議論した。書面で提出された意見については、後日回答の場を設ける予定であるが、本日はその意見を整理した内容を事務局から説明する。 本日は、政策の大綱4以降の内容について審議をお願いする。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 審議会規則第3条第1項の規定に基づき、石坂会長に議長をお願いする。 <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本会議は会議の傍聴を認めることとしているが、異議はないか。 <p>(各委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 異議なし。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本日、傍聴者は無し。 <p>2. 第3次総合計画の審議</p> <p>(1) 書面提出意見の報告について</p> <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> まずは、書面で提出いただいた意見について事務局に説明を求める。 <p>【事務局より資料説明】</p> <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本日議論する予定の政策の大綱4以降の内容に関する意見と合わせて、次回審議会でもまとめて回答する。 本日の審議後に意見がある場合は、19日まで書面での提出を受け付ける。 <p>(2) 前期基本計画について</p> <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 政策の大綱4から行政経営までをまとめて事務局に説明を求める。 <p>【事務局より資料説明】</p>

(会長)

- 残りの時間は、委員から意見を伺う。質問や意見がある場合は、挙手を求める。

(委員)

- P.82に、ヤングケアラーや学校給食による子どもの食事支援など、近年話題となっている取り組みについて記載してはどうか。

(会長)

- 「ヤングケアラー」は比較的最近使われるようになった言葉であり、子どもが家族の介護や世話を担うことを指す。亀山市においても、そのような事例があるのか。

(委員)

- 外国籍の子どもは、親の通訳を担うことが多く見られる。
- ヤングケアラーは把握しにくい対象である。

(委員)

- 子どもに作文を書かせた際に、子どもが大人の面倒をみているような内容が書かれており、実態がどうなのか気になった。

(委員)

- 包括支援センターが実態を把握している可能性がある。民生委員で把握していない場合でも、重層支援体制の中で把握している可能性がある。

(会長)

- 現在、計画には明記されておらず、窓口が不明確で課題が表面化しにくいことから、計画に明記すべきではないかという意見だと思う。

(委員)

- この件については、来年度策定予定の福祉計画に含まれる内容ではないかと思われる。

(委員)

- 学校給食による子どもの食事支援についてはどうか。多くの人が子ども食堂の活動に関わっているのではないか。

(会長)

- 亀山市の場合、子ども食堂は、子どもの貧困対策としての役割よりも、居場所づくりとしての役割が強いのではないか。

(委員)

- 食事をつくって配るだけの余裕がなくなっていると聞いた。

(委員)

- 対象となる世帯数が多いと聞く。「みんなの食堂」で150世帯程度の登録があると聞く。高齢者への食事支援も行っており、子どものみを対象とした支援ではない。

(委員)

- 学校給食については、令和8年4月から小・中学生が学校で全員喫食制給食を開始する予定となっている。

(会長)

- 子ども食堂は、ボランティア団体または社会福祉協議会など、こういった方が主体となって活動しているのか。

(委員)

- 団体があり、活動に対して三重県社会福祉協議会から補助が出ている。
- 物価の上昇などにより活動が困難になっている。

(委員)

- 生活困窮者、一人親家庭などを対象に限定し、食料支援という形で対応している。

(会長)

- 子ども食堂は、現状厳しい状況にあり、市としてどのように関与できるかが課題である。p.82の福祉分野に記載できるとよい。

(委員)

- p.81 成果指標「重層的支援体制により複合的な課題のある世帯が自立につながった世帯数(累計)」について、「重層的支援体制」や「複合的な課題のある世帯」という表現がわかりにくいと感じる方もいる。
- 「自立につながった世帯」という表現は、課題が解決したように見えるが、実際には支援策を計画した世帯数であり、現在も支援が継続している状態である。表現がそぐわないので違う表現にした方がよいと思う。
- P.82(2)「つながるシート」の活用について、主体が明示されていない。行政の相談支援包括化推進員と社会福祉協議会のCSWが連携して取り組んでいるので、役職を明記した方が理解しやすい。

(会長)

- 現状値に89世帯とあるが、潜在的にもっと多いということか。

(委員)

- 89世帯の支援が実施されており、目標値100世帯は妥当である。
- 80世帯で停滞している理由としては、支援側のキャパシティー不足がある。
- 「重層的支援体制により複合的な課題のある世帯が自立につながった世帯数(累計)」の目標値については、パーセント表記がよいという意見もあったので検討し、社会福祉協議会と協議のうえで妥当な数値を設定してほしい。

(委員)

- p.82の関連指標「民生委員・児童委員定例会の参加率」について、出席率によって活動を評価するのではなく、活動率など活動状況を図れる指標に見直してほしい。

(会長)

- p.135 成果指標「1. 正規職員数(医療職及び消防職を除く。)」の目標値が現状値よりも増えていることについて、企業経営では少ない人員で成果を上げることが重視するが、単純に職員数を増やすという目標は適切なものか。総合計画にはそぐわないのではないか。

(事務局)

- 実際には、確保予定の人数に達していない状況である。適正な人数にするという趣旨で掲載している。

(委員)

- 職員だけでなく、会計年度任用職員など非正規職員を正規職員にする計画等はないのか。ある程度、地位が安定している方が仕事をしやすいと思われる。

(会長)

- 会計年度任用職員の問題はどの自治体でも課題であると思うが、目標値として言えることはないように思う。

(事務局)

- 会計年度任用職員についても通常の採用試験により、正規職員として採用できる仕組みはある。それでも、正規職員としての数が足りない状況にある。

(会長)

- p.136には、定年延長による65歳までの職員の利活用についても記載されている。公務員のフレキシブルな勤務形態や、時間外勤務時間の減少についても言及されている。

(委員)

- p.95の子どもや高齢者はスポーツしやすい環境にあるが、30歳代から60歳代のスポーツ環境について考えてほしい。30歳以上の壮年ソフトボール大会があり、以前は多くのソフトボールチームがあったが、以前に比べソフトボールチームが減っている。団体スポーツを通じて、顔を合わせることで地域づくりにつながる。
- p.107の古い上水道施設については、メンテナンスが必要であり、適切に管理されているのか疑問である。
- 消防団を中心として助け合いの体制をしっかりと整えるべきだと思う。

(会長)

- 消防団については、人数の確保や高齢化といった問題を抱えていると思う。女性も男性と一緒に活動しても良いと思う。

(委員)

- p.96部活動の地域展開について、教員の数が少なければ部活動数も少なく、また部員の数も少ないため、複数の学校が合同で実施しなければ練習できない部活動もある。教育委員会内にはスポーツに関する部署が無く連携が取りにくいいため、学校だけに任すのではなく、手厚く支援してほしい。休日に、子どもがやりたいと思えるスポーツを出来るようにしてほしい。

(会長)

- 親の送り迎えの問題や、金銭的な問題も抱えている。どういった支援があるとよいか。

(委員)

- 亀山中学校や西野公園で開催することが考えられる。モデル事業として11月から実施する予定であり、しっかりと推進してほしい。

(委員)

- 土日の試合は親も送り迎えが可能だが、平日の送り迎えをどう対応するかが課題。

(委員)

- p.118には「財政的・人的な支援」と書いてあるのに対し、p.87では「支援する」のみの記述となっている。

(委員)

- 地域まちづくり協議会は、市民まちづくり基金から財政的支援を受けている。
- 地域の具体的な取り組みは、地域まちづくり協議会が担うのだろうと思うが、人員不足等で今の人員では活動が難しい。組織づくりや人的支援を、市が地域まちづくり協議会の会長等と相談しながら進めてほしい。

(会長)

- 地域まちづくり協議会の財源は、市からの支援のみか、あるいは会費制か。また、事業を実施する際にも支援があるのか。

(委員)

- 地域まちづくり協議会の財源は、自治会を通じての会費と、市からの世帯割・人口割による支援金で構成されている。また、事業計画を立てれば、追加の支援金が出る仕組みになっている。

- 各コミュニティセンターは、指定管理制度により地元で管理を委託している。管理費から事務員を雇い、事務職的な役割を担っている。事務局的な役割を充実できれば、市の要請にも応えられるようになる。
- 地域の防災について、誰をどのように避難させるかといった具体的内容は、地区防災計画の中で決めていく。
- 行財政分野において、広域連携について言及しているが、国民健康保険や介護保険等は鈴鹿市と連携しているものの、上下水道は広域化ができなかったと聞く。廃棄物処理等は広域化すれば行政は楽になる。小さな自治体のため、広域化できるものは広域化に向けて取り組むべき。
- 職員の数について、縦割りの組織になっており、調整を役割とした部署が必要になるのではないかと。あわせて、p.138のDX化も鑑み、効率化を図っていく必要がある。
- 庁舎の建て替えを考えているならば、市営住宅の民営化等を進めて、跡地を売却して財源を確保するなど、予算の源を明確にしなければ実現が難しいと思う。

(委員)

- p.106通学路の雑草がひどい。地域の人から、市の土地であるため草を刈ることができないと言われた。どういう経路で、草刈りを依頼すればいいのか。
- 草刈りの問題以外にも、子育てに関する支援があるにもかかわらず、支援やサービスが伝わっていないと思ったことがある。地域の人や学校など、市がさまざまな部署と連携を取れるようにしてほしい。
- 本の貸し借りにわざわざ図書館まで行くことが不便。

(委員)

- p.110公共交通の不便さを感じている。関連指標では、乗客数を増やすことを目標としているが、便数を増やさなければ乗客数は増えないと思う。

(委員)

- 先ほどの意見のうち、市道の草刈りは自治会で行っており、市の土地だから刈れないということはないと思う。

(事務局)

- 市においても草刈りを実施しているが、ボランティアに登録している人や自治会にお願いしている部分もある。市の土地だから刈ってはいけないという制限を設けているわけではない。

(委員)

- 住民の中には、市が行うことだから自治会でやってはいけないという人もいる。そういった人への対応も、行政にお願いしたい。
- p.119「新たな協創等による取り組み件数(累計)」の目標値6件に対し、p.120「新たな協創等による取り組み件数(再掲)」の目標値4件となっているのはなぜか。

(事務局)

- p.120も目標値6件が正しいため修正する。

(委員)

- 「ぶらっと」の扱いについて、協働・協創分野と地域福祉の分野に重複して書かれている。統一しないのか。

(委員)

- p.90「障害のある方」や「障がい者」という文言が混在しており、特に意図がなければ統一すべきである。
- 災害時における障がい者の情報へのアクセスシビリティについて、障がい者に関する

部分で記載があると良い。

- p.124移住について、若い方をターゲットにしたプロモーションができるとうい。

(委員)

- 加太保育園では野外教育、加太小学校では森林環境教育を実施しているので移り住んでみようという人がいると聞く。亀山の学校は特色づくりをやってきた。つくってきたものを胸張って情報発信すればよいと思う。
- 大企業の人事異動において、亀山市への転居を嫌う人もいると聞く。
- 空き家を企業の社宅として活用してもらうなど、さまざまな情報発信ができるとうい。

(委員)

- 本来、高齢者福祉と子育て福祉の施策で一緒に考えられると良いものがある。ほかに、縦割りではなく、横の連携で考えてもらえるとうくなるものは多い。

(会長)

- 関係団体等との連携については、表現方法を予め連絡・調整をお願いしたい。
- その他、今回意見を出せなかったことについては、意見書にてご提出をお願いしたい。

3. その他

【事務局より意見書について説明】

(事務局)

- 意見書の提出は、11月19日(水)17時までとする。
- 次回の開催日程は11月27日、9:15から本庁舎3階大会議室で行う。
- 議事録を事務局で作成する。発言者は非公開とする予定である。
- 議事録は、委員の皆様を確認の上、公開させていただく。
- これをもって、第5回亀山市総合計画審議会を閉会させていただく。

以上